

資料提供(投げ込み) 令和5年3月22日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
消防総務課 (電話059-254-0351)	消防総務課長 鈴木 幸広

救急救命士派遣「三重大学病院ハイブリッドワークステーション」の
開設に係る協定書の調印式実施について

このことについて、津市及び鈴鹿市が三重大学医学部附属病院と「救急救命士派遣に係る協定」を締結することに伴い、調印式を実施します。

その内容については、別紙のとおりです。

NEWS RELEASE

**救急救命士派遣「三重大学病院ハイブリッドワークステーション」
開設に係る協定書 調印式のご案内**

国立大学法人三重大学医学部附属病院(以下、「三重大学医学部附属病院」)は津市および、鈴鹿市との度、「救急救命士派遣に係る協定」を締結し、3月28日(火)に調印式を執り行うことになりました。つきましては、ぜひ報道機関の皆様にもご出席を賜りたく、下記の通りご案内申し上げます。

記

- 日 時 令和 5 年3月 28 日(火)15:30~16:00
- 場 所 三重大学医学部附属病院 外来棟 5 階大ホール
- 出席者 三重大学医学部附属病院
病院長 池田 智明
津市
市長 前葉 泰幸
消防長 長脇 勝
鈴鹿市
市長 末松 則子
消防長 落合 満弘

- 式次第 1. 開式
2. 出席者紹介
3. 経緯・概要説明
4. 代表者挨拶(三重大学医学部附属病院長、津市長、鈴鹿市長)
5. 協定書署名・記念撮影
6. 質疑応答
7. 終了

【概要】

近年の救急医療を取り巻く環境は、高齢化社会の問題や新たな感染症の脅威に加え、大規模災害などの発生が懸念され、各地域での早急な対策が求められています。

このような状況の中、三重大学医学部附属病院では※1 院内救命士制度を活用し救急救命士の研修を行うため、「三重大学病院ハイブリッドワークステーション」を開設いたします。

近隣市から派遣された救急救命士は、三重大学医学部附属病院救急救命センターにて救急医の※2 タスクシフトとして業務を行い、救命救急の専門スタッフから指導を受けて、地域の病院前救護の担い手として必要な知識・技術を習得します。研修後は、地域において病院前救護体制の要となり、救急医療に貢献することが期待されます。

ぜひ取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※1 院内救命士制度：

2021年10月の救急救命士法改正で病院前のみで実施可能であった救急救命処置が救急外来でも実施可能となりました。

※2 タスクシフト

業務の一部を分担、または共同実施すること

【ご取材のお申し込み】

以下の内容を添えて、メールにて3月27日(月)15時までにご連絡を賜りますようお願い申し上げます。

お申し込み先メールアドレス：s-hisyokoho@mo.medic.mie-u.ac.jp

(三重大学医学・病院管理部秘書広報係)

- ① 御社名
- ② ご出席者全員のお名前
- ③ ご出席者代表の方のお電話番号
- ④ ご出席者代表の方のメールアドレス
- ⑤ TVカメラの有無

<本件に関するお問合せ>

三重大学医学・病院管理部総務課秘書広報係 西島

TEL: 059-231-5769

E-mail: s-hisyokoho@mo.medic.mie-u.ac.jp